メタライジングは未知の領域へ　～樹脂めっき技術で自動車の軽量化と意匠性に貢献します～

◆2014年9月、タイ王国にて新拠点【Siam Kakihara Co., Ltd.】本格稼働開始!

- ☑ Siam Kakihara Co., Ltd.（サイアム　カキハラ）
- ☑ ASEAN地域の自動車産業のハブとなるタイへ立地
- ☑ 金型・成形・めっき・組立までの一貫生産に対応
- ☑ 通常のクロムめっきの他に、現在日本で好評生産中のプラチナサテンめっき、3価クロムめっき（ダーク色、白色）にも対応
- ☑ ABS樹脂の他に自動車ドアハンドルなどに使用されるPC/ABS樹脂へも対応

柿原工業株式会社
本社／〒721-0956　広島県福山市箕沖町99-13
TEL.084-953-8100　FAX.084-953-7723
ISO9001/ISO14001認証取得
◆柿原工業オフィシャルサイト◆
http://www.kakihara.co.jp/
お問い合わせもオフィシャルページから受け付けております

海外の少量多品種の素材調達・加工にお困りではありませんか?

1 現地調達可能
2 鋼材、加工部品が現地で提供出来ます
※ 現地での加工の対応もご相談に応じます

タイ工場

インドネシア工場

まずはご相談ください!

扶桑鋼管株式会社
本社（千葉県浦安）　047(354)8988
大阪営業所　06(6556)1505
北陸加工センター　0761(43)1122
ご相談・お問い合わせは　本社営業部　貿易チーム
TEL. 047(390)7111　担当：オカダ・ハセガワ
詳しくは http://www.fusoh-kokan.co.jp/

アジアビジネス

アジアビジネスはこれまでの中国、台湾、韓国に加えて、急速に経済成長している東南アジア諸国連合（ASEAN）のブルネイ、インドネシア、カンボジア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナムへと広がっている。世界各国がビジネスチャンスを求め、この巨大市場を目指す。

生産地としても市場としても 注目集まるASEAN

日欧米の多くの企業が生産のコストダウンを図るため、中国、韓国、台湾などへと進出、投資を行い、成果を挙げてきた。しかし、そうした国や地域の産業における技術力は向上し、加えて労働賃金も上昇している。

中でも中国ではハイスピードで進む経済成長や技術力の向上、さらには産業構造の変化がおきており、賃上げに影響を与えている。中国の上海市人的資源社会保障局は2014年4月から、同市の月額最低賃金基準を1820元（約3万2760円）とした。04年の月額635元からみると、10年間で3倍近く上昇している。13年の同市における最低賃金基準である月額1620元から見ても、12・3%という高いレベルの引き上げだ。12年は月額1450元であり、毎年10%以上の賃上げとなっている。

最低賃金の引き上げは上海市だけでなく、北京市や深圳市や重慶市などの直轄市のほか、山東省や陝西省でも行われている。今やコストダウンだけを目的として中国に進出するのは厳しくなったといえる。そうした状況から注目を集めているのがASEANだ。中でもインドネシアは豊富な天然資源と世界第4位の人口などの市場環境から、注目を集めている進出国である。13年、日本からの直接投資は過去最高額の47・1億ドルで、インドネシアにおいて、第1位の投資国になった。

精密機械加工メーカーの相崎電機製作所（長野県須坂市）はグローバル化の一環でアジア進出を狙っている。池田英平社長はこの数年アジアマーケットをみてきた。池田社長はインドネシアを「約2億5000万の人口を抱える。今後所得が上がってくればマーケットとして魅力的だ」と評価。また「タイは最終製品のメーカーが集まり、ASEANのモノづくりの中心になるのではないか。部品供給国としてはベトナム、フィリピン、そしていよいよミャンマーだろう」と分析した上で、「ミャンマーはベトナム以上に日本と相性がよいといわれているが実際のところはまだわからないのでは。まだこれからだとみている」（同）と語る。

ハイエンド製品 高品質サービス

市場としての中国は依然としてビジネスチャンスがあるといえるだろう。景気後退期にあるといわれているが、7%近くの経済成長率を保っている。また、富裕層や中間所得層はいまだ拡大し続けている。こうした消費者層が購買意欲を持っているのは日本企業が得意とする高品質、高付加価値、高精度のハイエンド製品や、高品質のサービスである。もっともこれは中国のみならず、今後、経済成長が期待されるASEANでも同様だろう。

日系企業の新しいアジアビジネスの取り組みの一つが介護や医療サービスの進出である。既に日本の高性能医療機器や器具、高品質の介護サービスや医療サービス、ソリューションの輸出が始まっている。顕微鏡を利用して行う外科手術、マイクロサージャリー分野で利用される微細の糸付き縫合針でトップシェアの河野製作所（千葉県市川市）は今後、アジアの医療市場はさらに成長していくと見込んで、中国・上海に拠点を設置。中国の拠点拡大、東南アジア諸国の市場開拓も進めている。

また、医療、介護向けITシステムでも日立システムズが日本の介護事業者向けシステムの開発で培ったノウハウに現地での介護のニーズを取り入れて開発した「中国向け介護サービス管理システム」を12年から中国で販売。遼寧省鞍山市ほか数カ所の介護施設が導入している。この管理システムはサービスを提供する介護スタッフ、システムのユーザーにとって使いやすい、操作しやすいというのがポイント。管理や業務の効率化実現によって、入所者に対してよりきめ細かく、個々に最適の介護サービスを提供することができる。日本製の高品質ソリューションがアジアで高い評価を得た一例だ。

同社は日立グループが11月19日にシンガポールで行う「日立イノベーションフォーラム2014シンガポール」でITソリューションやサービスを紹介するという。

日本で開発された〝日本製〟ITソリューションがユーザーフレンドリーであることは介護分野においてだけではない。生産の現場で利用されるシステムから経営管理システムに至るまで、ユーザーの使いやすさを追求しており、導入によってビジネスの効率化を図ることができる。日本製ソリューションはアジア市場でさらに導入が増えるだろう。

アジアでのビジネス展開では進出し、事業を開始した後も多くの課題に直面しているという話が聞かれる。すでに多くの企業が事業を展開している中国であっても、いまだに売掛金の回収、労使関連問題、さらには知的財産所有権のトラブルなど、解決が困難な問題が発生している。中でも知財管理は高い技術を持つ日系企業にとって頭が痛い問題だろう。

知財対策をスピードアップ

東京工業大学イノベーションマネジメント研究科の田中義敏教授は「ベトナムやタイなど、ASEANでの年間の特許出願件数が非常に少ない上に、自国地場企業からの出願比率は低く10%程度。残りの90%は欧米や日本といった海外からの出願」と現状を説明する。出願に関しても審査体制が整備されていない。「出願から登録まで時間がかかりすぎる。十分な保護が行われているとはいえないなど問題は多い」（同）という。

ASEANにおいて知財管理は非常に困難だ。しかし、そこで手を抜く訳にはいかないだろう。田中教授も「特許の出願は知財保護において重要であり、不可欠。手続きを少しでも早く進めるため、現地の人的ネットワークを構築し、活用していくことが現時点で採るべき手段」とアドバイスする。

アジア市場に進出する企業は増加し続けている。そこにはビジネスチャンスがあるからだ。しかし、進出するためにはクリアしなければならない課題が多い。知財管理よりももっと手前、例えばオフィスの開設では回線の手配、国際テレビ会議システムの設置、快適な情報通信システムの構築、セキュリティー対策を行わなければならない。もちろん稼働後は運用監視や保守を行っていく必要がある。

IT企業が提供しているサービスの中には、コンサルティング会社、法律事務所、会計事務所などと組んだコンソーシアムがITソリューションだけでなく、国内での進出準備段階から総合的にサポートしていくというものもある。こうしたサービスを利用するのは立ち上げまでの時間短縮に有効だ。

日本の介護システムソリューションが導入された中国・遼寧省鞍山市の鞍山祥頤園老人ホーム（日立システムズ）

アジア進出目指す日本の中小企業

相崎電機製作所
池田 英平社長に聞く

これからアジアでモノづくりにチャレンジする中小企業がある。機械加工業の相崎電機製作所はベトナムへの進出を計画中だ。池田英平社長に直面している問題点などを聞いた。

◇ ◇

―ベトナムへの進出計画をどう進めていますか。

「機械加工業に強いコンサルタントと契約した。かなりマニアックな相談をすることができたほか、現地での人的コネクションの構築にも協力してくれた。コンサルタントがいなかったら、設立まで倍以上の時間がかかるだろう。そもそも現地語での書類作成など、自分ではできない」

―進出にあたっての問題点などを挙げてください。

「非常に難しいのが日本人常駐者の選定。性格、技術力、環境対応力、管理能力などを考慮しなければならない」

―ベトナム人のエンジニアを雇用しているだけでなく、実習生も受け入れていますね。

「進出を目的に雇用や受け入れを行ったのではない。アジアを知るためにはまずアジアの人と働いてみなければと思ったからだ。進出先をベトナムに検討し始めたのはその後だ」

―実際、一緒に働いてみた印象は。

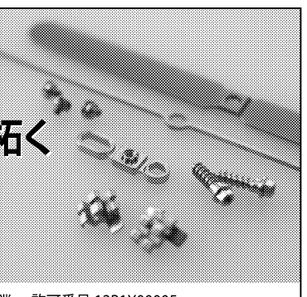
「ベトナム人は親日で勤勉。パートナーとして相性がよい。もちろん優秀だ」

―現在のエンジニアや実習生は稼働したら、ベトナムに戻るのですか。

「その予定だ。彼らがベトナムでも日本で学んだ技術を生かし、相崎電機製作所の看板を背負い、一緒にモノづくりを続けてくれることを願う」

ベトナムからやってきたエンジニアや実習生は勤勉で優秀（相崎電機製作所）

CROWNjUN
微細製造技術で次代の医療を切り拓く
医療機器の設計から開発、製造、販売まで、ワンストップで提供



医療機器製造販売業　許可番号 12B1X00005
株式会社 河野製作所
本社／〒272-0832 千葉県市川市曽谷2丁目11番10号　TEL.047-372-3281　FAX.047-373-4515
工場／〒272-0832 千葉県市川市曽谷2丁目11番10号　〒300-2743 茨城県常総市岡田字館出し548-6
http://www.konoseisakusho.jp　http://www.crownjun.com

HITACHI
Inspire the Next

グローバル展開を加速するお客さまの頼れるITパートナーをめざして。

日立システムズは、国内外で事業拡大を図るお客さまに向けて国境の枠を超えて最適化したITソリューションを提供するため、成長著しい中国や東南アジア、インドを中心に海外拠点の整備を進めています。各国子会社の優れた人財や、拠点網を生かしたITインフラ構築、運用サービスなどをワンストップで提供し、お客さまの事業拡大やITガバナンスの整備を強力に支援します。日立システムズは先進のIT技術で、お客さまに驚きと感動をもたらすサービスを提供してまいります。

日立システムズのアジアにおける主な拠点

日立システムズ
海外進出支援サービス

導入事例はこちら http://www.hitachi-systems.com/global/

株式会社 日立システムズ　〒141-8672 東京都品川区大崎1-2-1　商品のお問い合わせ フリーダイヤル 0120-346-401　受付時間9:00-17:00（土・日・祝日は除く）　www.hitachi-systems.com
Human*IT